USER'S VOICE NO. 6

村上先生　　田中 主任技師

ユーザー紹介

岐阜大学工学部
村上 茂之 教授

村上先生は、橋梁工学・鋼構造学・構造力学の研究者で社会インフラの設計・維持管理系の科目を担当される教授であると同時に、岐阜大学情報推進本部副本部長（情報環境整備室長）も担われています。岐阜大学の学内ネットワークは、村上先生と実務を行う職員とが連携することで、安全性や安定性を担保されています。

ユーザーコメント

岐阜大学情報推進本部情報環境整備室は、岐阜大学内のネットワークインフラを統べており、日頃から職員、教員、学生等の学内ネットワークの快適・安全な利用に寄与しています。私は情報環境整備室の室長という立場ですが、IT通信系を専門とはしていないため、田中さんには、大学全体の情報施策の企画・立案に専門技術者として積極的に関与してもらっています。岐阜大学ではこの様式を取っていますが、技術職員の意向がダイレクトに上層部に伝えられることは、実は他の大学と比較しても珍しいとは思います。現場の技術職員から「企画内容の実現にはどうしたらよいか、どんなことが対応可能か」の観点で意見をもらい、それをもとに責任者である私が実際に行うことを決定するというプロセスです。

近年大きな動きのあった管轄業務のひとつといえば、「リモート業務環境の構築」でしょうか。大流行した感染症の影響で、大学の授業だけでなく職員の業務もリモートを余儀なくされ、大学本部からの要請もあり早急な対応に迫られました。そこで、真っ先に情報技術支援室の田中 昌二 主任技師に「リモート勤務でネットワークを安心して使えるようにするために必要なことは何か」を洗い出してもらいました。リモートで業務を安全に行う仕組みが実現したのは、それからおよそ１カ月後です。非常にスピード感のある仕事でした。

田中さんは
ネットワークなどの情報インフラ、
私は 橋梁などの社会インフラが
専門です

普段は
業務の話はもちろん
橋梁のお話を伺うことも
ありますよ

田中さんとはもう20年近く一緒に仕事をしています。意見交換や情報共有を日頃から行っている私たちは、ユーザーと支援者というよりむしろ、もちつもたれつの車の両輪の方が、例えとしては的確かもしれません。

作成：2025.7.8 統括技術センター　松浦彩夏